

**計画事業に係る事後評価記載様式(初年度・2年度目)****I 総合評価**

地域の主体的な取り組みと創意工夫による公共交通の活性化・再生を通じ、個性豊かで活力に満ちた地域社会実現に寄与するために適切な事業を選び出し、当該事業を本格実施する環境を整備するための検討を行ったか。

自治会や女性会などの住民代表や船やバスの運行事業者を委員として構成する法定協議会を開催し、地域の公共交通を活性化するために適切な事業を選び出し、試行的に事業を実施する中で、問題点の検証、事業の見直しの要否の検討、当該事業を本格実施するための環境の整備に向けて必要な検討を行った。

**II 計画事業の実施**

① 事業計画に位置づけられた事業が適切に実施されたか。事業計画に位置づけられた事業が事業計画どおりに実施されなかった場合には、適切な理由等が明らかにされているか。

総合事業計画において、「①西能美航路の合理化・効率化」「②交通空白不便地域への移動手段確保」「③インターネット等による情報提供の充実」「④市内外の観光施設とタイアップした観光ルート等の開発」「⑤サイクル&シップライド型エコツーリングの推進」を位置づけている(以下、事業①～⑤とする)。

事業①については、平成22年10月1日より、近接する2つの航路(中町・高田～宇品及び三高・大須～宇品)において、三高棧橋への車両輸送需要の集約を想定し、半年間、中町・高田～宇品のフェリーを休止し、高速船への特化・サービス向上を実施している。

事業②については、平成22年10月1日より、市内3地区においてデマンド型乗合タクシーの実証運行を実施している。

事業③については、平成22年12月17日より、江田島市ホームページ内に「路線検索」のページをオープンし、航路とバス路線を合わせた路線検索を行えるようにしている。

事業④については、平成22年7月の週末に、広島県の観光事業の1つとして実施された「歴史遺産航路(宮島・呉～江田島)」とタイアップし、ツアー利用者へのオプションツアーとして、江田島市内の観光施設を貸切バスで巡るツアーを実施した。

事業⑤については、江田島市観光協会と連携して「江田島市サイクリングマップ」を企画・作成・印刷し、平成23年1月より市内主要施設や船内および近隣自治体の自転車店等に設置・配布している。

**III 具体的成果**

① 定められた評価方法・評価基準にしたがって、評価事項について事業を評価したか。その際、事業の効果・影響とそれ以外の効果・影響を分離して評価したか。

事業①については、「事業収支」「利用者数」「サービスに対する満足度」を評価指標に設定している。「利用者数」については、旅客輸送はフェリーを休止することで高速船にほぼそのまま転換したと考えられるが、車両輸送は三高・大須～宇品航路へ転換する以外に一定数が陸路に転換したと考えられる。「サービスに対する満足度」については、実証運航前後で同様の項目を設定したアンケート調査を実施したところ、中町・高田～宇品航路(高速船)について、実際にサービス向上となった項目(運航便数、運航時間帯、運賃等)の満足度指数が大幅に向上する結果となった。「事業収支」については現在、集計作業を行っている。

事業②については、「公共交通による人口カバー率」「事業収支」「利用者数」「サービスに対する満足度」を評価指標に設定している。

「公共交通による人口カバー率」については予約型乗合タクシー3路線の導入により、93.9%だったものが95.4%に向上している。「事業収支」については、各路線で目標を20%に設定しているが、江田島北部線12.0%、沖美北部線6.3%、沖美南部線2.4%といずれも目標は達成できていない。「利用者数」については、行政が今後路線を維持するための目安として、収支率から各路線で1日あたり16人の利用を目標値に設定し、地域住民に利用を促しているものの、平成22年10月～12月の平均値は、江田島北部線が5.1人/日、沖美北部線が2.4人/日、沖美南部線が0.6人/日といずれも目標値を大きく下回っている。「サービスに対する満足度」については、利用登録者アンケートを実施し、路線別に満足度を把握している。各路線で満足・不満足的项目に多少違いはあるが、共通して「週2日の運行曜日」「運行ダイヤ」「路線バスとの乗り継ぎ」「航路との乗り継ぎ」の満足度指数が低い結果となっている。

事業③については、「アクセス数」「サービスに対する満足度」を評価指標に設定している。

「アクセス数」については、ホームページの公開から1か月ほどしか経過していないため、今後周知されるとともにアクセス数は上昇すると見込まれる。「サービスに対する満足度」については、ホームページ上で使いやすさ、わかりやすさ等に関する簡単なアンケート調査を実施中であり、2月末を目処に結果を集計する予定である。

事業④については、「観光施設来訪者数」「観光目的での公共交通利用者数」「サービスに対する満足度」を評価指標に設定していたが、「観光施設来訪者数」「観光目的での公共交通利用者数」については、他の効果・影響を分離できないため、「サービスに対する満足度」に絞って評価することとしている。「サービスに関する満足度」については、7月に実施したモニターツアーで参加者アンケートを実施し、「個々の観光スポット」「ツアーの移動手段」「ツアーのスケジュール」「ツアーの価格」等、どの項目においても概ね満足度指数は高い結果となっている。

事業⑤については、「観光施設来訪者数」「観光目的での公共交通利用者数」「自転車での航路利用者数」「サービスに対する満足度」を評価指標に設定していたが、「観光施設来訪者数」「観光目的での公共交通利用者数」については、他の効果・影響を分離できないため、「自転車での航路利用者数」「サービスに対する満足度」に絞って評価することとしている。「サービスに対する満足度」については、各地で設置・配布しているサイクリングマップにアンケートを挟み込み、2月末日を回収期限に調査を実施中である。「自転車での航路利用者数」については、現在、集計作業を行っている。

## ② 実施した事業が地域公共交通に関する目標を達成するために適切な事業であるかどうかを検証したか。

事業①については、これまでの航路体系では存続が危ぶまれる中、利便性の低下を極力抑えつつ需要を集約し、効率的で安定的なサービス供給に寄与しているため、計画に位置づけた「便利で効率的な公共交通体系の構築」という目標を達成するために適切な事業であると判断される。「事業収支」「利用者数」については、現在、集計作業を行っている。

事業②については、実証運行中の利用者が、主にこれまで路線バスを利用できなかった（路線がない、あっても適したダイヤがない）地区の住民であり、計画に位置づけた「住民の日常生活を支える最低限の移動手段の確保」という目標を達成するためには適切な事業であるが、「便利で効率的な公共交通体系の構築」という目標に関しては、収支率から逆算して設定している「各路線16人/日」という数値目標を大幅に下回っており、持続可能性の観点から改善が必要である。「公共交通による人口カバー率」「事業収支」については、現在、集計作業を行っている。

事業③については、これまで航路・バスを含め各事業者が別々で情報提供を行っていたものを、乗り継ぎ等を含めて横断的に検索できるようになり、計画に位置づけた「誰もが利用しやすい環境の創出」という目標を達成するために適切な事業であると判断される。「アクセス数」「サービスに対する満足度」については、現在、集計作業を行っている。

事業④については、広島県の観光事業とタイアップしたことにより、調整作業に不測の期間を要し、周知広報期間が短かったため、思うような集客が出来なかった。しかし、アンケートの結果を見ると、移動手段を含めたツアーに対しての満足度の高さ、また路線バスを利用した移動に対して約80%の方が「路線バスを利用する」と回答されていることなど、公共交通を利用した観光振興の道筋をつけられた。このことから「観光振興に資する公共交通サービスの実現」という目標を達成するために適切な事業ではあるが、今後の事業展開については内容を再検討する必要がある。

事業⑤については、近隣自治体等でサイクリングマップを配布することで、近年注目されている自転車ツーリングの需要と江田島市の観光を結び付け、航路（フェリー）利用に繋げることが狙いであり、ここ数年で増加傾向にある自転車来訪者がマップを利用して何度も航路を利用して訪問してくれることから「観光振興に資する公共交通サービスの実現」という目標を達成するために適切な事業であると判断される。「自転車での航路利用者数」「サービスに対する満足度」については、現在、集計作業を行っている。

\* 必要に応じて、参考資料を添付して下さい。

#### IV 自立性・持続性

##### 1 事業の本格実施に向けての準備

###### ① 実施した事業を翌年度実施するにあたって問題点があるかどうかを検証したか。

事業①については、実施前から「フェリーを休止することで実質的運賃値上げによる住民の負担感の増」や「高速船の運賃を値下げすることによる他航路への影響」、「フェリーを休止することによる朝ラッシュ時の積み残し」等が懸念されており、アンケート調査等により検証した。結果、どれもほとんど影響は見られず、効果的・効率的な運航が実施されている。

事業②については、「採算性」や「前日予約の是非」、「運行経路」等が懸念されており、アンケート調査等により検証した。結果、利用者のニーズを運行に十分反映できていなかったことが主な原因で、当初の懸念がそのまま利用者の不満に繋がり、利用者が極端に低迷する路線も見られたため、1～3月で見直しを検討する予定である。

###### ② 実施した事業について利用者数が想定をかなり下回るなど効果が現れていない場合には、翌年度事業を実施するにあたって必要な見直しを行っているか。翌年度も同じ事業を実施する場合には、適切な理由等が明らかにされているか。

事業②は、当初の利用者の想定を大幅に下回る結果となっている。登録者アンケート調査の結果から、その原因として「運行曜日（商業施設の定休日に運行している）」「運行ダイヤ（通院の帰りに合わない）」「運行経路（目的地までの間で迂回し最短距離で行けない）」「路線バスとの乗り継ぎ（ダイヤが合わない）」「航路との乗り継ぎ（ダイヤが合わない）」「電話やFAXでの予約（前日までの予約が難しい）」等が想定されている。これらについては路線ごとに異なるため、1～3月で見直し案を作成し、4月に見直しを実施する予定である。また、市内で予約型乗合タクシーの導入は今回が初めてということもあり、利用方法等の周知が十分でなかった点も挙げられる。これについては、4月の見直しに合わせて、「まず1回乗って頂く」ための周知を実施する予定である

##### 2 事業の実施環境

###### ① 当該事業の翌年度実施のための財源について検討を行い、財源の目処がついたか。

平成23年度の計画事業の実施に当たっては、国費の外に江田島市からの財政支出によることで関係者の合意が図れており、現在見込まれる事業の市負担分は江田島市の平成23年度当初予算案として、市議会3月定例会において審議してもらう予定となっている。

###### ② 住民等による自主的な利用促進、啓発等の活動や協賛金拠出への協力等当該事業を翌年度実施する環境を整備しているか。

デマンド交通や既存バス路線については、事業内容を対象地域の自治会と協議し、持続可能な公共交通となるよう積極的な利用の促進を依頼している。事業実施に当たっては、利用促進につながるよう、啓発を行っていく予定としている。

**③ 当該事業の本格実施のための財源について検討を行ったか。**

公共交通の維持のための財源として中長期的に財源を確保できるよう、市総合計画に掲げることとしている。本格実施においては、市財政状況を鑑み、過大な財源支出を伴い将来的に持続が困難になることのないよう十分精査することとする。

\* 必要に応じて、参考資料を添付して下さい。

**V 住民の参加等による地域関係者の実質的な合意形成**

**① 協議会における審議事項が明確に定められ、計画事業の進め方、実施状況について審議される体制となっているか。**

平成22年度の計画事業の実施にあたっては、平成22年5月に開催した第1回法定協議会で承認されており、その中で実施項目等についても確認を行っている。また、事業の進捗については、平成22年8月及び9月に開催した第2回及び第3回の法定協議会で中間報告を行うとともに、平成23年1月31日に開催予定の第4回法定協議会においても引き続き審議を行う予定としている。（協議会議事録参照）

**② 協議会に住民が参加したり、住民の意見が反映される仕組みが設けられているか（公募制、住民意向調査等の実施が協議会の運営要領において定められているか。）。**

法定協議会の構成員には、自治会、老人クラブ、女性会などの住民代表者が含まれているほか、会議は一般に公開し審議されている。これらの過程を踏むことにより、住民との合意形成を図っている。

**③ 計画事業を実施するにあたって協議会が適切に開催されているか。**

事業の実施にあたり、適宜法定協議会を開催して事業の進捗状況についての報告を行い、必要な協議を行っている。また、平成23年1月31日に開催予定の第4回法定協議会において、計画事業に係る自己評価案を審議することになっている。その他、陸上及び海上交通事業者で構成する各分科会において事業内容に係る専門的な分野での検討を行っている。

**④ 協議会の議事が傍聴、議事録や関係資料の公開等によって適切に開示されているか。**

法定協議会は規約により常に公開することとしており、実際の開催においても公開とした。さらに協議会の資料及び議事録は、開催後速やかにホームページに掲載するとともに、節目においては市の広報誌に掲載している。

**⑤ 地域公共交通に関する目標を達成するために適切な事業を翌年度実施することについて地域関係者の実質的な合意が形成されたといえるか。**

総合事業計画において位置づけられている翌年度実施予定の計画事業については、今年度内に法定協議会において関係者の合意形成を図る予定である。

\* 必要に応じて、参考資料を添付して下さい。